

CentreCOM® 9006SX/SC リリースノート


この度は、CentreCOM 9006SX/SC をお買いあげいただき、誠にありがとうございました。
このリリースノートは、付属のマニュアルに記載されていない内容や、ご使用前にご理解いただきたい注意点など、お客様に最新の情報をお知らせするものです。
最初にこのリリースノートをよくお読みになり、本製品を正しくご使用ください。

1. ソフトウェアバージョン 2.2.1J

2. メニューから削除された項目


ソフトウェアバージョン 2.0.0J から 2.1.0J へのバージョンアップにおいて、以下の項目が削除されましたので、ご了承ください。

2.1 ソフトウェアのダウンロード(ネットワーク上のシステム)について

 「オペレーションマニュアル」 2-22 ~ 2-25 ページ

[Administration] メニューの [Update software in another system] および [Broadcast updated software to all systems] オプションは、ネットワーク経由によるダウンロード機能がサポートされていないため、メニューから削除されました。


2.2 ウェブからのソフトウェア設定について

 「オペレーションマニュアル」 2-41 ~ 2-42 ページ

[System Configuration] メニューの [Omega Options] において、ウェブからのアクセス制限を設定する [Web-based Omega Enabled/Exclude Web-based Omega] オプションは、ウェブからのソフトウェア設定機能がサポートされていないため、メニューから削除されました。

ソフトウェアバージョン 2.1.0J から 2.2.0J へのバージョンアップにおいて、以下の項目が削除されましたので、ご了承ください。

2.3 ターミナル設定の Generic “ dumb ” terminal について

 「オペレーションマニュアル」 1-14 ~ 1-15 ページ, 2-48 ページ

[System Configuration] メニューの [Terminal configuration] において、ターミナルの種類に合わせてソフトウェアを設定する [VT100-compatible/ANSI Generic “ dumb ” terminal] オプションはメニューから削除されました。これにより、本製品のターミナル設定はVT100-compatible/ANSIのみとなります。


3. 本バージョンで修正された項目

ソフトウェアバージョン 2.2.0J から 2.2.1J へのバージョンアップにおいて、以下の項目が修正されました。

- 3.1 bridge-mib dot1dBaseNumPortsの値が常に0(ゼロ)でしたが、物理ポート数 + 1 の正しい値が設定されようになりました。(拡張モジュールが装着されていない場合の値は7です。拡張モジュールが装着されている場合は、そのポート数分増加します。)
- 3.2 Default VLAN 以外の VLAN に所属するポートの MAC アドレスを、SNMP マネージャーから参照することができませんでしたが、これを修正しました。
- 3.3 「Activity monitor」画面に、MACアドレスの登録数が変化したときの情報が表示されていましたが、この情報を表示しないように修正しました。
- 3.4 トランキンググループ内の任意のポートでケーブルを抜き差しした場合、リンクしているポート数分の Trap が発行されていましたが、これを修正しました。


4. 本バージョンでの制限事項

4.1 RMON 機能について

 「オペレーションマニュアル」2-16 ~ 2-17 ページ


RMON alarm, event は、現在未サポートとなっています。あらかじめご了承ください。

4.2 マルチキャストアドレスの追加 / 削除について

 「オペレーションマニュアル」2-99 ~ 2-102 ページ


[MAC Address Table] メニューの [Multicast address] において、[Add MAC address] および [Delete MAC address] オプションを使用したマルチキャストアドレスの追加、および削除は現在未サポートとなっています。あらかじめご了承ください。

4.3 Xmodem ダウンロード機能について

 「オペレーションマニュアル」2-26 ~ 2-27 ページ

[XModem software update to this system] メニューを実行後、ソフトウェアのダウンロードをやむをえず中断する場合は、電源ケーブルを接続しなおしてください。

4.4 送信フレームの統計情報「Multicasts」について

 「オペレーションマニュアル」2-14 ~ 2-15 ページ

[Ethernet statistics] メニューの「Transmit Statistics Graph」画面 / 「Total Good Transmits」画面において、他のポートで受信したソースアドレス未学習のユニキャストパケットは、「Multicasts」としてカウント表示されます。


4.5 SNMP 機能について

[Administration] メニューの [Reset and restart the system] 実行時(ソフトウェアリセット時)に出力されるトラップは、coldStart です。

4.6 設定変更時のご注意


システムの設定変更(ミラーリング機能設定をのぞく)を行った後は、[Main Menu] -> [Administration] とすすみ、[Reset and restart the system] メニューを実行し、システムをリセットしてください。

4.7 QoS 機能について

 「オペレーションマニュアル」2-74 ~ 2-76 ページ

本製品QoS機能は、ソースアドレス学習済みのユニキャストパケットのみ対象に制御しています。

4.8 1000BASE-X/1000BASE-T ポートのポートミラーリング機能について

 「オペレーションマニュアル」2-55 ~ 2-57 ページ

本製品のソフトウェア(プロトコルスタック部分)から送信されるパケット(BPDU、ARP reply、trap など)は、ミラーリングされません。

4.9 スパニングツリー機能について

IGMPスヌーピングが動作している環境で、スパニングツリー機能を使用することはできません。IGMPスヌーピング機能とスパニングツリー機能は併用しないでください。

4.10 1000BASE-X ポートについて

1000BASE-Xポート同士の通信において(AT-A15同士のカスケード接続、CentreCOM 9006SX/SC同士のカスケード接続、AT-A15とCentreCOM 9006SX/SCのカスケード接続)、ソフトウェアバージョンの組合せによっては、正しく通信できない場合があります。1000BASE-Xポート同士の通信を行う場合は、必ずスイッチ本体を以下に示すソフトウェアにバージョンアップしてからご使用ください。


CentreCOM 8216FXL/SC : バージョン 2.0.0J 以降
CentreCOM 8224XL : バージョン 1.2.12J 以降
CentreCOM 9006SX/SC : バージョン 1.0.5J 以降

1000BASE-Xポートを使用する場合は、スイッチ本体に電源を入れてから、光ファイバーケーブルの接続を行うようにしてください。また、通信に問題が発生した場合は、光ファイバーケーブルの抜き差しを行うようにしてください。

光ファイバーケーブルのTXもしくはRXのどちらか一方のみを抜き差ししないでください。光ファイバーケーブルの抜き差しは、必ずTXとRXの両方を行ってください。

本製品は、[Port status and configuration]メニュー内において、1000BASE-Xポートの通信モードを[Half duplex]に設定することが可能です。ただし、1000BASE-Xポートの場合、本製品出荷時点で他の検証機器がないため、本製品同士、および弊社AT-A15、CentreCOM 8216XLとの検証のみを実施しています。


4.11 受信フレームの統計情報について

 「オペレーションマニュアル」2-12 ~ 13, 2-18 ~ 19ページ


バックプレッシャー機能を有効にした場合、[Ethernet statistics]メニューの統計情報表示画面において、実際に受信したフレーム数よりも多い数が該当カウンターに表示されることがあります。


5. マニュアルの誤記訂正

5.1 VLAN 最大設定数について

 「オペレーションマニュアル」2-56ページ

VLAN 最大設定数の表記に誤りがありました。以下のとおり訂正してお詫びいたします。

 2,047 個

 254 個